

造船設計・生産技術研究会 第11回シンポジウム開催のお知らせ

— 保安・保全・防災に関する艦装設計 —

主催 日本船舶海洋工学会 造船設計・生産技術研究会

本研究会では「保安・保全・防災に関する艦装設計」をメインテーマとして、第11回シンポジウムを下記要領で開催致します。船舶の保安・保全・防災に対するユーザー側からの要求は日に日に高まって来ております。機器メーカーからの提案も含め、これからの船舶艦装設計を考える一助ともなるように企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

記

開催日時:平成25年9月26日(木) 10:40~17:00

開催場所:九州大学 西新プラザ(福岡市早良区西新 2-16-23, 電話 092-831-8104)

詳細は<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/institution-use/nishijin/> を参照下さい。

アクセス ・福岡空港から地下鉄「姪浜」行き乗車 約 20 分

・博多駅から 地下鉄「姪浜」行き乗車 約 15 分→いずれも「西新」駅下車、⑦番出口より徒歩約 10 分

プログラム:

10:40~10:45	開会挨拶	九州大学	田中 太氏
10:45~11:10	プロジェクト研究成果報告: P32「大型船の係船装置の設計指針」の概要	住友重機械マリンエンジニアリング (株)	稲垣 秀彦
11:10~11:35	プロジェクト研究成果報告: P30「次世代船舶を目指した艦装工作法の改善」の概要	ジャパンマリンユナイテッド(株)	高田 浩太郎
11:35~12:00	電気艦装部会研究成果報告 震災時における船舶を利用した給電システムの可能性	東海大学	金子 仁
12:00~13:00	(昼食)		
13:00~13:35	ユーザーとしての保安・保全の問題点と新造船へのフィードバック	日本郵船(株)	岡崎 一正
13:35~14:10	MOL 安全標準仕様について	(株)商船三井	杉本 義彦
14:10~14:45	「船舶検査から見た船体艦装の保全」/「北極海航路の動向と船体艦装に関する要件」	(財)日本海事協会	今村 剛
14:45~14:55	(休憩)		
14:55~15:25	造船に関わる設計・工作・運航トラブルデータの分析法と活用について	九州大学	篠田 岳思
15:25~15:55	近年の救命・防火規則の改正と船舶設計への影響	製品安全評価センター	板垣 恒男
15:55~16:25	海事保安対策と船舶設計 海賊対策の技術・製品	海上技術安全研究所	太田 進
16:25~16:40	(1) 船舶用窓ガラスの飛散防止対策	(株)大晃産業	吉田 和彦
16:40~16:55	(2) 海賊対策用散水装置に関して	原田産業(株)	川瀬 宗洋
16:55~17:00	閉会挨拶	造船設計・生産 技術研究会会長	荒井 誠

参加費: 団体 25,000 円 (テキスト 3 冊含む)、一般 10,000 円 (テキスト 1 冊含む)、学生 3,000 円 (テキスト 1 冊含む)

申込方法: 申込書に所要事項を記入し、下記宛に申し込み下さい。(Fax, Mail での申込みも可)

申込締切: 先着 100 名をもって締切とさせていただきます。

申込先: 〒857-2494 長崎県西海市大島町 1605-1 株式会社大島造船所 設計部 船装設計課 松尾 和昭 宛

Tel: 080-1758-8391 Fax: 0959-34-2824, Mail: k-matsuo@ma.osy.co.jp

以上

「保安・保全・防災に関する艦装設計」シンポジウム参加申込書

申込者氏名	
会社・部署名	
所在地(連絡先)	〒 Tel: _____ Fax: _____
種別	団 体 ・ 一 般 ・ 学 生
申込数	
参加費支払方法	現金(当日支払い) ・ 銀行振込